

令和7（2025）年度第2回柏崎市美術品購入選定委員会 議事録

日 時 令和7（2025）年8月21日（木）9時30分から10時30分まで  
会 場 柏崎市役所 市長応接室  
出 席 者 選定委員：横山秀樹委員、山田明彦委員、柳重榮委員  
事務局：教育委員会 田中部長  
文化・生涯学習課 西巻課長、池田課長代理、新保主査、田村主査

次 第

1 開会

2 委員長挨拶

3 議題

- (1) 画廊からの提案作品の紹介及び各委員選定集約結果について
- (2) 第3回美術品購入選定委員会へ諮る作品の決定

4 閉会

議 事 内 容

●開会の挨拶（横山委員長）

●事務報告・確認

- ・ 柏崎市美術品購入選定委員会設置要綱第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数が出席しているため、選定委員会の開催要件を満たしていることを確認した。
- ・ 本日の議事録を作成するため、録音及び写真撮影を行うことを事務局から提案、全会一致で了承された。
- ・ 当日配付資料に不足等がないか確認を行った。

●事前説明等

- ・ これ以後の具体的な審議の内容に係る議事録等は、公開することにより委員の率直な意見交換等ができなくなる懸念があることから、非公開とすることを全会一致で承認した。

●画廊からの提案作品の紹介及び各委員選定集約結果について、事務局が説明し、協議が行われた。

【事務局説明】

委員の皆様から選定いただいた作品を予算内で組み合わせた場合、選択肢が多い結果となった。今一度予算額を念頭に置いた協議をお願いしたい。

【主な協議内容】

横山委員長：　今回は高額な作品も候補にあることから、まず初めに市の意向として市長の意見を伺いたい。

櫻井市長：　中村彝の作品を日動画廊の社長から直接紹介された。中村彝の作品は、柏崎市としては良いかもしれないが、作品としては今一つである。そうすると、梅原龍三郎の作品が柏崎の花展にふさわしいのではないかと考えている。

※　市長退席

横山委員長：　市長の話にあったとおり、中村彝は柏崎市との繋がりはある。しかし、本来この選定委員会で諮る作品は全て公平でなければならないが、日動画廊の社長は直接市長に紹介したことで、公平性に欠ける。どんなに良い絵画であったとしても本来はリストから除外すべき作品だと考えるがどうか。

柳委員、山田委員：そのとおりである。

横山委員長：　では、中村彝の作品を除外して選定することとし、他委員の意見を聞きたい。

柳委員　　：　梅原龍三郎が無難である。

山田委員　：　作品の質等を考慮すると梅原龍三郎が良い。

横山委員長：　それでは、梅原龍三郎を購入候補とする。他に良いと思われる作品について伺いたい。

柳委員　　：　牧進の作品が良いのではないか。候補作品は２点あるが「秋海棠」の方が良い。

山田委員　：　そうすると、候補作品は梅原龍三郎と牧進の２点だけになる。柏崎の花展で新作を待っている市民のことを考えるともう少し欲しい。

柳委員　　：　清田悠紀子の春風は金額も安く、一般の方からしてみると喜ばれる明るい作品である。

横山委員長：　見た者が、自分でも書きたくなるような作品である。

●第３回美術品購入選定委員会へ諮る作品の決定について決を採った。

- ・候補作品３点の購入について、第３回柏崎市美術品購入選定委員会において、現物確認を行う旨を、全員一致で了解した。

●閉会